

令和6年度こども読書活動推進の取組実績と課題等

No.	計画の体系 における番号	計画 ページ		計画の実現に向けた取組	令和6年度取組内容等	令和6年度取組実績と課題等	令和6年度 取組区分	担当課
【基本方針Ⅰ】 子どもの読書機会・環境の充実と読書活動の啓発								
1	(1)	ア	P22	【ブックスタート事業】 こども健康センターで実施している4か月児健康診査において、ブックスタートを実施し、保護者に乳幼児期からの絵本を介した親子のふれあいの大切さについて伝えます。あわせて、絵本の紹介や読み聞かせ、市立図書館の利用案内やリーフレットの配付、行事の案内等を行い、保護者への啓発を行います。 また、保健師の訪問指導や地区活動等を通じて、啓発に努めます。	感染症予防対策を講じながら、引続き4か月児健康診査においてブックスタートの場を設け、啓発に努めます。 また、家庭訪問等の機会を活用した啓発に引続き努めます。	診察待ちの時間と場所を利用して絵本の紹介と読み聞かせの方法を個別に実演しているが、人とベビーカーで混雑した状況での実施になっている。 より効果的な取組となるよう実施場所の検討が必要である。	継続	子育て支援課
2					引き続きブックスタートで親子が絵本に触れ合う機会をつくるとともに、乳幼児期からの絵本との関わり大切さを伝えることができるよう、保護者への案内・啓発を工夫して取り組みます。	ブックスタートの待ち時間でボランティアによる読み聞かせを実施し、親子に絵本との関わり大切さを伝えました。絵本配布時に図書館の利用案内等を配布し、4か月児健診後図書館を利用する流れをつくることができました。 今後も配布率を高められるよう、周知に努めます。 ブックスタート37回 2,152冊 配布率98.4%	継続	中央図書館
3	(1)	イ	P22	家庭・地域での推進 【読み聞かせ会・講演会・講座の開催】 各施設で、読書のきっかけづくりとなる行事を行います。	引き続き講座・講演のテーマに応じた展示・選書を行い、興味を持っていただけるように努めます。	講座・講演等に関連したテーマで、参加した人の興味を引くような読書のきっかけづくりとなる特集展示を行いました。	継続	人権・男女共生課
4					多言語での読み聞かせや、日本語学習者による朗読など、本を通じた多文化理解に取り組めます。	(あいセンター)多言語での読み聞かせや外国にルーツのある人を通じて、世界の絵本から言葉の違いを見聞きしていただくこと、多言語の本(絵本)を紹介するなど、多文化理解に努めました。 今後も、参加者が増えるよう周知に努めます。 (WAM) 毎月テーマを決めて実施している展示と合致したこども向けの本、センターの設置趣旨に沿った内容の選書を行い、本に親しんでいただくとともにジェンダー平等についても興味を持っていただけるように努めてまいりました。	継続	人権・男女共生課
5					本の紹介や、読み聞かせについての情報収集をし、巡回職員からの情報提供を通して子どもの本への親しみや読書への興味を深めるよう取り組みます。	学童保育課から各学童保育室へのおたよりの中で学童保育室で読み聞かせをしてほしいと思う本の紹介を行い、こどもが本への親しみや読書への興味を深めるよう取り組みました。	新規	学童保育課
6					中高生向け文学講座の開催を検討しています。	川端康成文学館では、中高生向けの文学講座を開催しました。今後も継続して開催していきます。	継続	文化振興課
7					引き続き、絵本作りの講座を実施し、こども達が絵本と関わりを持つことができる機会の提供に努めます。 公民館でも、読み聞かせ等の講習会の実施を通じて、子どもの読書活動推進に向けた働きかけを、引き続き行います。	子どもセミナーにおいて、4回の講座を実施し、60名のこどもたちに、絵本との関わりを持つ機会を提供することができました。 公民館でも、計画されていた読書に関する講座・講習会は7館で開催され、前年度から2館増加しました。	継続	社会教育振興課

令和6年度こども読書活動推進の取組実績と課題等

No.	計画の体系 における番号		計画 ページ		計画の実現に向けた取組	令和6年度取組内容等	令和6年度取組実績と課題等	令和6年度 取組区分	担当課
8	(1)	ウ	P22	家庭・地域での推進	【子どもの本のコーナーの充実】 各施設では、図書の購入や市立図書館からの団体貸出やリサイクル図書の活用により、子どもの本のコーナーの充実を図るとともに、利用しやすい環境整備に努めます。	引き続き、生涯学習センターの1階交流コーナーにおいて「乳幼児及び小学生向け書籍コーナー」を継続して取り組み、読書が推進されるように努めます。 きらめきフェスタ2024において、図書館コラボのコーナーを企画し読書が推進されるように努めます。	生涯学習センターの1階交流コーナーにおいて「乳幼児及び小学生向け書籍コーナー」を継続して取り組み、読書が推進されるように取り組みました。 また、きらめきフェスタ2024において、図書館コラボのコーナー(①プラバンづくり、②おはなし会、③移動図書館)を実施しました。	継続	文化振興課
9						引き続き本センターの設置趣旨に沿った内容かつ子供向けの選書を行い、本に親しんでいただくとともにジェンダー平等についても興味を持っていただけるように努めてまいります。	こども向けの図書やジェンダー平等に興味を示してもらえようような図書の整備に努めるとともに、地域の人たちから多くの図書の寄附があり、図書の充実を図ることができました。今後は、市立図書館以外にも、各館の相互利用ができるようにすることも含め、各館の本の紹介等の周知に努めます。	継続	人権・男女共生課
10						市役所南館3階「本のコーナー」に、「おもしろい本みつけた」の冊子や図書館の開館日カレンダーを配架し、こどもが本に触れる機会を増やせるよう努めます。	こどもが本に触れる機会を増やせるよう、引き続き市役所南館3階「本のコーナー」に、「おもしろい本みつけた」の冊子や図書館の開館日カレンダーを配架しました。	継続	こども政策課
11						春と秋に図書館作成のブックリスト「おもしろい本みつけた」を各学童保育室に配付します。 中央図書館との連携(団体貸出や移動貸出の利用)や、最寄りの学童保育室は校外保育で図書館を利用するなど、児童が本に親しむ機会の充実に努めます。	春と秋に図書館作成のブックリスト「おもしろい本みつけた」を各学童保育室に配付するとともに、おはなし会ボランティアの派遣利用、各図書館での団体貸出や移動図書館の利用、また、校外保育時に図書館を利用するなど、児童が本に親しむ機会の充実に努めました。	継続	学童保育課
12						引き続き、利用者に興味を持ってもらえるよう図書の充実に努めます。	利用者に興味を持ってもらえるよう、新たに37冊の図書を購入し、図書コーナーの充実に努めました。	継続	社会教育振興課
13	(1)	エ	P23		【本市にゆかりのある作家と作品の紹介・普及】 川端康成文学館では、小・中学生、高校生向け文学講座の開催を検討するなど、子どもたちの来館を働きかけ、川端康成及び作品への興味を促します。 富士正晴記念館では、子どもたちにリーフレットを配布するなど、子どもたちが親しみをもてるよう、富士正晴及び作品の紹介・普及に努めます。	引き続き子どもたちにわかりやすい情報提供に努めます。 子ども向けパンフレットの配布と夏休みを中心にワークショップを開催します。	川端康成文学館では、こども向けパンフレットの配布、夏休み企画で川端康成に関するクイズやワークショップなどを開催しました。クイズは令和7年度からのリニューアルを予定しています。	継続	文化振興課
14						クイズや塗り絵などこども向けの行事を開催し、富士正晴をはじめとする茨木市にゆかりのある作家について、こどもたちにわかりやすい情報提供に努めます。	富士正晴記念館では11月に、「富士さんの動物たちがかくれんぼ」を開催し、こどもたちに富士正晴を知ってもらうことができました。 2日間 参加人数 計76人(うちこども34人) 継続して、イベント等で周知を図る必要があります。	継続	中央図書館

令和6年度こども読書活動推進の取組実績と課題等

No.	計画の体系 における番号		計画 ページ		計画の実現に向けた取組	令和6年度取組内容等	令和6年度取組実績と課題等	令和6年度 取組区分	担当課
15	(2)	ア	P23	保育所（園） ・幼稚園・認定こども園等での推進	【読書の習慣化への取組】 絵本コーナーの充実を図り、本を読む環境を整えます。また、子どもの興味や季節、年齢に応じた本の読み聞かせを行います。絵本だよりを発行し、保護者への啓発に努めます。	所・園において、継続した読み聞かせや適切な絵本の貸し出し等を実施し、さらに絵本に親しむ機会を啓発します。 保護者に絵本の大切さや楽しさ等を知っていただく機会や親子で一緒に楽しめる活動等を実施し、さらに絵本に親しめるように啓発します。	園、所において継続した読み聞かせは実施することができました。また、落ち着いて絵本に集中できるような環境についても各園で工夫しました。絵本の貸し出しや、各施設内でお便りを配布するなど、こどもと保護者が一緒に絵本に親しむことができるよう啓発に努めました。	継続	保育幼稚園総務課
16	(2)	イ	P24		【子どもの本の選定・収集の充実】 子どもの興味関心のある絵本、年齢や季節に応じた絵本を計画的に購入し、充実を図ります。	子どもの興味関心のある絵本や年齢や季節、時代のニーズに応じた絵本を精選し、より絵本に親しめるように努めます。	絵本貸出カードを参考にこどもの興味や関心のある絵本をリサーチしたり年齢や季節等に合わせて計画的に環境を整えました。また、時代のニーズに応じた絵本、今まで教育・保育の中で大切にしてきた絵本などを整えました。	継続	保育幼稚園総務課
17	(2)	ウ	P24		【配慮（支援）を要する子どもへの読書環境の整備・読書機会の提供】 年齢に合わせた絵本だけでなく、配慮(支援)を要する子どもたちに合わせた絵本を選び、全体での読み聞かせ時に、みんなと一緒に楽しめる機会を設けます。	個人に合わせた本を読みやすい環境をつくり、本への興味や読書を楽しめるよう日々の療育に取りいれ実践してまいります。	毎日一定の時間を設けて、本と触れ合う機会を作り実践してきました。今後も引き続き年齢に合わせた絵本だけでなく、配慮（支援）を要するこどもに合わせた絵本を選び興味を持てるような機会を増やします。	継続	発達支援課
18						全体での読み聞かせにおける必要な配慮とともに、個に応じて興味のある絵本を楽しめる対応を継続していきます。	配慮児を含めた集団の中で、個に応じた対応も実施しながらこどもの興味関心のある絵本の読み聞かせに努めました。	継続	保育幼稚園総務課
19	(3)	ア	P24	学校での推進	【小・中学校における読書の習慣化への取組】 日ごろから学校で子どもたちがさまざまな形で本に触れる機会を設けることで、読書活動の習慣化に取り組みます。	児童生徒の読書意欲が向上するように、図書館の環境を整備し、行きたくなる学校図書館を目指します。また、司書教諭やスクールサポーターの交流をとおし、よりよい図書館環境について情報交流できる場を設定します。	小・中学校全校に配置しているスクールサポーターを対象に、学校図書館研修会を開催し、市内2校の学校図書館を充実・活用するモデル校の担当者から行きたくなる学校図書館の読書活動推進の取組みを報告しました。	継続	学校教育推進課
20	(3)	イ	P24		【子どもの本の選定・収集の充実】 調べ学習や授業関連の本を収集するとともに、児童・生徒のリクエストを考慮しながら本の選定・収集をします。	各教科等において、児童生徒の学習の基盤となる資質能力を育成することを目的に、学校図書館資料を活用しながら、授業改善を行っている学校の好事例を府域へ普及するために公開授業を実施します。また、蔵書の充実を図るとともに、物流サービスを活用し、他校や公共図書館の図書も活用します。	学校図書館を充実・活用するモデル校が調べ学習で有効であった書籍のリストを作成し、公開授業時に配付するとともに、市内で閲覧できる共有フォルダで市域の学校が確認できるようにしました。また、物流サービスについては、物流回数15回で年間445回、19,474冊の活用がありました。（前年度は物流回数15回で年間460回、14,073冊）	継続	学校教育推進課
21	(3)	ウ	P25		【障害のある子どもへの読書機会の提供】 司書教諭等連絡会などで、障害のある子どもたちの読書状況について情報交換を行い、デイジー図書の利用について情報提供を行います。	司書教諭連絡会等で、全ての子どもが興味・関心を高め、楽しみながら読書できるようにするために考える機会をつくります。	司書教諭等連絡会で「情報活用能力の育成のための環境づくり」をテーマに、学校図書館を充実・活用するモデル校の2校に言語能力及び情報活用能力の育成のため、学校全体で学校図書館の環境整備や、本に親しむ活動や学校図書館を活用した各教科等の授業づくりや教科横断的な学習について報告し市域の普及をはかりました。	継続	学校教育推進課
22	(3)	エ	P25		【学校図書館運営体制の充実】 司書教諭・図書館担当職員・スクールサポーター・学校図書館ボランティア等が連携し、学校図書館の利用促進を図る取組を進めます。	司書教諭・スクールサポーター・学校図書館ボランティア等が図書を活用した授業を行いやすいようにする活動や、環境整備等について連携するとともに、市立図書館職員による研修や学校図書館の見学・アドバイスも行い、学校図書館の運営体制の充実を図る取組を進めます。	学校と市立図書館が連携するための「学校と公共図書館ねっとわークプラン」を、校長会で周知し、活用しました。	継続	学校教育推進課

令和6年度こども読書活動推進の取組実績と課題等

No.	計画の体系 における番号		計画 ページ		計画の実現に向けた取組	令和6年度取組内容等	令和6年度取組実績と課題等	令和6年度 取組区分	担当課
23	(4)	ア	P25	市立図書館での推進	【子どもの本の選定・収集の充実】 年齢に応じた本など幅広く子どもの本を収集します。 また、児童書と一般書の区別にとらわれず、中高生向けの図書の充実に努めるとともに、電子媒体の活用についても検証します。	こどもの興味関心のある資料や、年齢・季節に応じた資料を精選し、より本に親しめる環境づくりに努めます。 10代向け「イバハルコーナー」については、より利用されるよう、周知及び資料の充実に努めます。 電子書籍については、引き続き利用実態を検証し、収集更新を行い充実に図ります。	こどもの興味関心のある資料や、年齢・季節に応じた資料を計画的に選定・収集し、入替を行いました。また、10代向け「イバハルコーナー」についても、中高生の興味関心のある資料配置に努めました。 電子書籍については、収集更新を行い、こども向けの調べ物の本や中高生向けの読み物など149冊(うち寄付54冊)を新たに受け入れました。	継続	中央図書館
24	(4)	イ	P26		【移動図書館による巡回】 市立図書館や分室から離れた地域を巡回するほか、イベントや子どもの集まる場所に移動図書館で巡回し、読書の機会を提供します。	図書館から離れた地域を巡回し、市内全域で図書館を利用できる環境整備に努めます。また、イベントやこどもの集まる場所に巡回し、読書の機会を提供します。	図書館から離れた地域に定期巡回するほか、イベントや商業施設などこどもの集まる場所に巡回し、図書の閲覧・貸出・クイズを行うなどこどもたちに読書の機会を提供しました。 ・定期巡回 16箇所（清溪小学校・忍頂寺小学校、天王分室休室中の巡回場所の沢良宜西含む） ・イベント出展 10回	継続	中央図書館
25	(4)	ウ	P26		【ブックリスト「おもしろい本みつけた」等の作成・配付】 0歳～高校生までの年齢に応じたおすすめの本を紹介するブックリスト「おもしろい本みつけた」を継続して、作成し配付します。 また、配付・設置場所をより広く追加するとともに、中高生向けの本の情報提供に努めます。	引き続き、ブックリスト「おもしろい本みつけた」及び中高生が選ぶ中高生向けブックリストの作成・配布を行います。 中高生が参加しやすい募集時期や周知方法を検討をします。	ブックリスト「おもしろい本みつけた」を春夏号と秋冬号の2回発行しました。また、中高生からおすすめ本を募り、ブックリスト「中高生の推し本」を作成しました。出前講座で訪問した高校で、生徒に本の推薦コメントをもらうなど、工夫して作成を行いました。引き続き、工夫しながらブックリストを作成する必要があります。	継続	中央図書館
26	(4)	エ	P26		【子どもの読書に関する相談】 問い合わせの多いテーマなどの本のリストを作成します。作成したリストは利用者の手に取りやすい場所に配置するなど、活用を図ります。 多様なテーマの特集を行い、子どもの読書に関する相談・レファレンスを充実します。 また、図書館ホームページの「子ども向け調べものリンク集」についても、随時見直しを行うとともに、活用についての周知に努めます。	問い合わせの多いテーマなど、レファレンス対応がスムーズにできるよう本のリストを作成して職員で共有し、ホームページに掲載するなど活用されるよう工夫します。 学校と連携して「茨木市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催します。 中央図書館や分館で、本の探し方や調べ方についての講座を開催します。 「こども向け調べものリンク集」について、随時見直しを行い、更新します。	問い合わせの多いテーマや、季節の本など、特集コーナーの設置に合わせて本のリストを作成し、ホームページに掲載しました。 学校と連携して「第7回茨木市調べる学習コンクール」を開催しました。また中央図書館では「図書館を使いこなそう講座」の中でこども向けの本の探し方を説明し（2回、7人）、分館でもこども向けの本の探し方講座を開催しました。（3回、13人）開催場所や周知方法については検討が必要です。 「こども向け調べ物リンク集」の見直しを行いました。新しいリンクの追加については検討が必要です。	継続	中央図書館
27	(4)	オ	P26		【「おはなし会」の充実】 図書館や保育所（園）・幼稚園・認定こども園、学校、市内のイベント等でおはなし会を開催します。 また、随時、開催場所、内容、派遣先や派遣回数の見直しを行い、より参加しやすい条件整備に努めます。	図書館では引き続き、0から3歳までの乳幼児と保護者対象の「ちいさいこおはなし会」、幼児と小学生対象のおはなし会を開催します。 保育所（園）・幼稚園・認定こども園、学校、市内のイベント等へおはなし会ボランティアを派遣し、おはなし会を開催します。 おはなし会の開催時間について、適切な時間帯や開催時間等の検証を引き続き行います。	中央図書館・分館で、おはなし会を実施しました。おにクルぶっくぱーくでは、こどもの健診等に合わせ、開催回数を増やしました。また昨年度に引き続き私立の保育所（園）等へのおはなし会ボランティアの派遣を実施しました。 開催回数 中央・分館 ちいさいこ 72回 1,468人 幼児・小学生 67回 1,684人 派遣 147回 10,986人 （うち新規 11回 586人）	継続	中央図書館

令和6年度こども読書活動推進の取組実績と課題等

No.	計画の体系 における番号		計画 ページ		計画の実現に向けた取組	令和6年度取組内容等	令和6年度取組実績と課題等	令和6年度 取組区分	担当課
28	(4)	カ	P26	市立図書館での推進	【講座・子ども向け行事等の開催】 図書館の利用促進を図るため、市立図書館を利用したことのない子どもの利用のきっかけとなるような取組を各図書館で行います。 保護者と子どもが一緒に参加できる読み聞かせ講座や子どもの本の講座等、保護者・児童のニーズに合わせた内容・日程の講座や行事を開催します。	保護者と子どもが一緒に参加できる講座や、図書館を利用したことのないこどもの来館のきっかけになるような行事を各図書館で開催します。	中央・各分館で、保護者と子どもが一緒に参加できる読み聞かせ講座や工作などの行事を開催しました。 ・ブックスタートフォローアップ読み聞かせ講座 2回 計 78人 ・こどもの読書にかかわる人材育成のための講座 1回 20人 ・その他講演会 2回 101人 ・多言語おはなし会 7回 176人 ・読書感想文の書き方講座 1回 52人 ・こどもの本交換会 6回 591人 ・工作・クイズ等イベント 21回 2,446人	継続	中央図書館
29	(4)	キ	P27		【子ども向け広報の充実】 ちらしやポスターによる広報を行うとともに、市立図書館ホームページからも、行事のお知らせや利用案内が容易に検索できるよう、情報発信に努めます。また、広く呼びかけるためSNS等も活用します。	ポスターの掲示やちらしの配布について学校園等に協力を依頼するとともに、市立図書館ホームページや市ホームページ、市公式SNS等を利用し図書館の案内や行事のお知らせについて幅広く周知します。また、こどもに向けた効果的な情報発信の方法について検討します。	行事案内ちらしについて、近隣の学校園等に協力を依頼し配布しました。また、図書館および市ホームページ、広報いばらき、市公式SNSの他、地域のフリーペーパーなど様々な媒体で、こども向けの利用案内や行事情報を発信しました。おにクルぶっくぱーくの一の行事については、おにクルのホームページやおにクル公式SNSも活用し周知に努めました。水尾図書館では「みずいろだより」を作成し、近隣の子育て施設等に配布しました。	継続	中央図書館
30	(4)	ク	P27		【すべての子どもが利用しやすい環境づくり】 母語が日本語でない子ども向けに、外国語で書かれた絵本を収集するとともに、大阪府立図書館や他市の図書館で所蔵している外国語の本についても情報提供を行います。また、外国語での読み聞かせやおはなし会を開催します。 障害のある子ども向けに、デージー図書やサビエの周知・利用促進に努めます。	中央・分館で多言語絵本を購入し、充実を図ります。多言語絵本を活用し、国際交流関係の市内団体との連携事業を実施します。 中央図書館に、新たに点字えほんやLLブックなどを置くコーナーを設置するとともに、ホームページやSNSに掲載し、加えて利用促進イベントなどで周知を図ります。	多言語絵本を活用して、「いろいろなことばのえほんひろば」や、多言語による絵本の読み聞かせと図書館司書による本の紹介を行う多言語おはなし会を開催しました。中央図書館では点字えほんやLLブックなどを置くコーナーを新たに設置し、周知や利用促進に努めました。	拡充	中央図書館
31	(4)	ケ	P27		【本市にゆかりのある作家と作品の紹介・普及】 図書館では、川端康成や富士正晴の作品を紹介するほか、郷土の作家を子どもたちに身近に感じてもらうため、現在活躍している本市にゆかりのある作家とその作品等についても、幅広く紹介し、親しむ機会を提供します。	イベント時に本市ゆかりの作家や作品についてのクイズを実施するなど、こどもたちの興味関心を高める情報提供に努めます。また、現在活躍している本市にゆかりのある作家と作品について情報収集を行い、図書館ホームページ等で子どもたちに知ってもらえるよう取り組みます。	10月に開催したBOOK TRAVEL 2024では本市ゆかりの作家や作品について出題する文学クイズを実施し、大人も含む合計331人の参加があり、本市ゆかりの作家について周知することができました。	継続	中央図書館
32	(4)	コ	P27		【「子ども読書の日」の普及】 「子ども読書の日」の普及に努め、「子どもの読書週間」におはなし会や子ども向け行事を開催し、広報等で、関連行事としてのPRを行い、子どもの読書活動の推進を図ります。	引き続き、「こども読書の日」や「こどもの読書週間」に合わせて、おはなし会やこどもの本の交換会などを開催します。行事の連続開催や、啓発ポスターの掲示など、「こども読書週間」のPRに努めます。	中央図書館及び分館で「こども読書の日」「こどもの読書週間」のPRポスターを掲示し、こども読書週間に合わせて、中央図書館やおにクルぶっくぱーくではおはなし会スペシャルを、中央図書館ではこどもの本交換会を実施し、大人を含めて合計363人の参加がありました。	継続	中央図書館

令和6年度こども読書活動推進の取組実績と課題等

No.	計画の体系 における番号	計画 ページ		計画の実現に向けた取組	令和6年度取組内容等	令和6年度取組実績と課題等	令和6年度 取組区分	担当課
【基本方針Ⅱ】 関係機関の連携と人材の育成								
33	(1)	ア	P28	【団体貸出の利用促進】 地域で子どもが集まる施設や保育所（園）・幼稚園・認定こども園、学校等に対して、中央図書館と4つの分館が団体貸出を行い、子どもたちに多様な図書を提供します。また、団体貸出の活用方法等の周知に努めます。	団体貸出について、継続して利用促進に努めます。また、寄附を受けて購入したテーマ・対象別の図書のセット貸出を広く周知し、利用促進に努めます。	学校・保育所（園）等、合計65の団体に9,650冊の貸出を行いました。また学校図書館と市立図書館の情報共有のための「ねっとわーくだより」12号で図書のセット貸出の案内を記載し、利用促進をはかりました。引き続き、図書のセット貸出について広く周知を行う必要があります。	拡充	中央図書館
34					団体貸出の手順等について機会をとらえて学校図書館担当者に周知し、利用促進を図ります。	司書教諭等連絡会で団体貸出やテーマ別の貸し出しについて、市図書館の職員が周知し、利用促進を図ることができました。	継続	学校教育推進課
35	(1)	イ	P28	【ブックリスト「おもしろい本みつけた」の活用】 年齢に応じた、市立図書館司書おすすめの本を紹介したブックリスト「おもしろい本みつけた」を多くの人の目にふれるよう、さまざまな施設に配布します。	ブックリスト「おもしろい本みつけた」を作成し、保育所（園）・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の児童・生徒に配付するとともに、ホームページにも掲載します。乳幼児と保護者が集まる場所での配布など、保育所等に通園していない子どもたちへの配布方法については引き続き検討します。	ブックリスト「おもしろい本みつけた」を春夏号と秋冬号の2回発行し、保育所（園）・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の生徒に配布する以外にも、つどいの広場や市役所の関係各課の窓口に設置してもらいました。加えて、各地域の子育てサロンにも配布を行いました。また、図書館ホームページに掲載し、情報提供に努めました。さらに活用してもらえるような取組が必要です。	拡充	中央図書館
36	(1)	ウ	P28	【読み聞かせやおはなし会の開催】 保育所（園）・幼稚園・認定こども園、学校、市内でのイベント等、図書館を含め子どもの集まる場所で、ボランティアによる読み聞かせを行います。また、開催等の情報提供に努めます。	保育所（園）・幼稚園・認定こども園、学校、市内でのイベント等、図書館を含めこどもの集まる場所で、ボランティアや職員による読み聞かせを行います。イベントでのおはなし会開催の周知については、広報いばらきや市公式SNS、いばライフや地域情報サイトへの定期的な掲載依頼に努めます。	校園長会、公民館館長会で、おはなし会ボランティア派遣についての周知に努めました。開催の周知については、チラシの配布や広報いばらき、いばライフや地域情報サイトに定期的に記事掲載をしました。各所におはなし会ボランティアを派遣し、読み聞かせを行いました。	継続	中央図書館
37	(1)	エ	P28	【市立図書館の見学、職場体験】 中央図書館と4つの分館で、保育所（園）・幼稚園・認定こども園、学校等からの見学を受け入れ、来館した子どもたちに利用案内・館内見学を実施し、図書館の使い方を周知します。また、中学校からの職場体験を受け入れ、業務を体験してもらう中で、市立図書館を身近に感じ、本に親しむ機会を提供し読書への関心を高めます。	小学校の図書館への見学を実施します。図書館を紹介し、利用促進につなげます。 中学校から図書館への職場体験を実施し、生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら自らの生き方を考え主体的に進路が選択できるような機会にします。	中央図書館及び分館で、図書館見学を実施しました。 中学校から図書館への職場体験を実施しました。	継続	学校教育推進課
38					中央図書館と4つの分館で、保育所（園）・幼稚園・認定こども園、学校等からの見学を受け入れ、来館した子どもたちに利用案内・館内見学を実施し、図書館の使い方を周知します。また、中学校からの職場体験を受け入れ、業務を体験してもらう中で、市立図書館を身近に感じ、本に親しむ機会を提供し読書への関心を高めます。	中央図書館と4つの分館で、保育所（園）・幼稚園・認定こども園、学校等からの見学を受け入れ、来館した子どもたちに図書館の利用方法を周知しました。また、中学生の職場体験を受け入れ、図書館の業務を体験してもらいました。実際に図書館に足を運んで利用体験や業務体験をしてもらうことで、子どもたちに図書館を身近に感じてもらい、本に親しむ機会を提供することができました。 小学校図書館見学（小学3年生） 20校 計2,038人 図書館見学（小学3年生以外） 約220人 職場体験 8校 計59人	継続	中央図書館

令和6年度こども読書活動推進の取組実績と課題等

No.	計画の体系 における番号		計画 ページ		計画の実現に向けた取組	令和6年度取組内容等	令和6年度取組実績と課題等	令和6年度 取組区分	担当課
39	(1)	オ	P29	連携 による 取組	【学校と市立図書館との連携】 「学校と公共図書館ねっとわーくプラン」に基づき、市立図書館司書が、学校訪問を行い、司書教諭及びスクールサポーターに情報提供を行うほか、意見交換や相談に応じます。また、司書教諭やスクールサポーターの連絡会に出席し、個々の学校の取組についての情報収集を行い、連携につなげます。	司書教諭等連絡会や、スクールサポーター研修に市立図書館の職員も参加し、学校と市立図書館との連携を深めます。学校と市立図書館が連携できることについての周知を様々な場面で行います。 「茨木市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、全国コンクールにも応募します。	司書教諭連絡会や、スクールサポーター研修会に市立図書館の職員も参加しました。司書教諭連絡会ではブックトークの研修を行いました。また、市立図書館と共催で、「茨木市 図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、456点の応募があり、うち、7点を全国コンクールへ出展しました。（前年度は333点）	継続	学校教育推進課
40						図書館職員による小・中学校の図書館訪問や、スクールサポータ連絡会への出席をとおして相互に情報提供を行うなど、司書教諭やスクールサポーターと図書館職員の連携に努めます。	図書館職員が学校図書館を訪問し、情報提供や意見交換を行いました。訪問数 小学校22校(内2件電話) 中学校10校 また、スクールサポーター研修会に職員が参加し、情報提供や交流を行いました。 学校図書館担当教職員やスクールサポーター対象に「ねっとわーくだより」を年2回発行しました。 第12号の内容「団体向けセット貸出」 第13号の内容「読書バリアフリー」	継続	中央図書館
41	(1)	カ	P29		【ボランティアグループ等の情報提供】 朗読や読み聞かせのグループ等についての情報を収集し、保育所（園）・幼稚園・認定こども園のほか、子育て関連施設に情報提供を行います。	引き続き朗読や読み聞かせグループについて情報を収集し、地域の保育所（園）や子育て関連施設等へつなげる方法を検討します。	朗読や読み聞かせのグループ等についての情報収集は進んでいませんが、No.43「地域団体・ボランティアのネットワークづくり」とともに進めていく必要があります。	継続	中央図書館
42	(1)	キ	P29		【生涯学習出前講座の実施】 市立図書館司書が、読み聞かせについての講座や、図書の修理実演、市立図書館の利用案内等を行います。図書館ホームページで過去の実施内容や、申し込み方法を連携するなど情報発信に努めます。	各館でのリーフレット設置や図書館ホームページへの案内掲載等の周知のほか、中学校・高校・子育て関連施設等への情報提供について関係課と連携して取り組みます。	出前講座で、図書館の取組や、本の修理方法について職員が話をしました。（1件） 各館での出前講座の冊子の設置や図書館ホームページへの案内掲載等の周知のほか、小中学校や子育て関連施設等への積極的な情報提供が必要です。	継続	中央図書館
43	(1)	ク	P29		【地域団体・ボランティアのネットワークづくり】 子どもの読書にかかわる地域団体、ボランティアについて、情報収集を行い、連携してネットワークづくりに努めます。	こどもの読書にかかわる地域団体、ボランティアについて、引き続き情報収集を行い、連携してネットワークづくりに努めます。	こどもの読書にかかわる地域団体やボランティアについて、情報収集に努めましたが、相互の連携やネットワークづくりについては今後の課題です。	継続	中央図書館
44	(1)	ケ	P29		【関係機関、地域団体、ボランティアとの連携・協力】 それぞれの取組の中で、相互に連携・協力できるものを検討し、実践します。また、新たに連携して効果的に子ども読書活動を推進できる取組を検討します。	地域の関連機関やボランティア、市立図書館が、それぞれの取組の中で、相互に連携・協力できるものを検討し、実施します。	地域の関係機関、団体、ボランティア等と連携に努めました。特ににおにクルぶっくぱーくでは、市民活動センターや子育て関係課と連携・協力し、さまざまな行事に取り組むことができました。引き続き、他の図書館でも取組みを広げていくことが課題です。	継続	中央図書館
45	(1)	ケ	P29			ふれあいルームの活動時間に、市立図書館やおにクルぶっくぱーく、団体貸出を利用し、読書に親しみます。	ふれあいルームの活動時間におにクルぶっくぱーくを9回利用し、読書に親しみました。	継続	教育センター
46	(2)	ア	P30		【保育士・幼稚園教諭の読み聞かせ技術の向上】 保育士・幼稚園教諭の読み聞かせ技術向上のため、研修や情報交流を行います。	今後も所・園内研修を通して職員間で意見交流や情報交流を行い、所・園内における読み聞かせをさらに充実したものにしていきます。 【具体的な研修について】 ・「絵本の読み聞かせについて」（保育所） ・「ことば部会・絵本について」（幼稚園）	所・園内研修などを通して、絵本の読み聞かせの充実に努めてきました。	継続	保育幼稚園総務課
47	(2)	イ	P30		【学校図書館に関わる人材の知識・技術の向上】 定期的に研修を行い、司書教諭、スクールサポーター、学校図書館ボランティアの知識・技能の向上に努めます。	司書教諭等・スクールサポーター研修会を開催し、知識技能の向上を図ります。	司書教諭等連絡会で学校図書館を充実・活用するモデル校の教員を含めディスカッションを行い、学校図書館を中心に据えた実践報告を行いました。	継続	学校教育推進課

令和6年度こども読書活動推進の取組実績と課題等

No.	計画の体系 における番号		計画 ページ		計画の実現に向けた取組	令和6年度取組内容等	令和6年度取組実績と課題等	令和6年度 取組区分	担当課
48	(2)	ウ	P30	連携による取組	【児童サービス担当職員のスキルアップ】 図書館内で研修を行うとともに、外部研修に積極的に参加し、知識・技能の向上に努めます。	図書館内で職員研修を行うとともに、オンライン研修など外部研修にも積極的に参加し、知識・技能の向上に努めます。	図書館に新しく配属された職員に対し研修を行いました。また、おにクルぶっくぱーくの現状について、全体研修を行いました。（1回、50人） 外部研修やオンライン研修には積極的に参加し、知識・技術の向上に努めました。（13回、22人）	継続	中央図書館
49	(2)	エ	P30		【おはなし会ボランティアの技術向上】 おはなし会ボランティアの技術向上のため、定期的に研修会を実施します。	ボランティアの技術向上のため研修会を実施します。	ボランティアの技術向上のため、研修会を実施しました。 1回、参加者43人	継続	中央図書館
50	(2)	オ	P30		【研修会の情報提供】 府立図書館の研修会等のお知らせを学校やボランティア、関係課等に情報提供します。	府立図書館等で開催される研修会や講座等について、学校やボランティア、関係課等に情報提供します。	府立図書館等で開催される研修会や講座等について、学校やボランティア、関係課等に情報提供しました。	継続	中央図書館